



岡村病院  
院内報

# 歩 (あゆみ)

第 22 号

発行 岡村病院  
編集 歩 (あゆみ)  
編集委員会  
平成 9 年 1 月 20 日

## 岡村病院 基本理念

私たちは、患者さん本位を第一に考え  
高度な専門医療技術をもって  
地域社会に貢献することを目指します。



ブッシュ記念球場とゲートウェイ・アーチ (セントルイス・アメリカ)

## チャレンジ3 CHALLENGE・3

今月のことば

### 目標が人をつくる

**1**  
私たちは、いつも「おもいやり」と  
「積極性」をもって患者さんから愛される  
病院づくりにチャレンジします！

**2**  
私たちは、高度な医療技術と専門性を  
もって、地域社会からより一層信頼される  
病院づくりにチャレンジします！

**3**  
私たちは、一人一人が専門家としての自負  
と責任をもち、明るく、さわやかで発展的  
な病院づくりにチャレンジします！

「目標が人をつくる。」と言う。しっかりした目標を定め、その達成に向けて努力して行く。そこに情熱も希望もわく。苦労が苦痛でなく進歩となる。

目標のない人生は流れに浮ぶ泡の様なものだ、と言った人がある。

一月は目標を設定する月、目標を確認する月である。

しっかりと目標を定め、その実現のためにふさわしい計画を立てて、新しい年を歩み出そう。

実りある一年のために！

# 医療、福祉のゆくえ

院長 心臓血管外科  
岡村 高雄



新年を迎えられ、皆様方も1年の健康と幸福を願っていることと存じます。私共といたしましても、皆様方の健康の維持と、病気よりの早期回復にお役に立てればと思っております。しかし、今後の医療、私共の健康のゆくえは、残念ながら混沌としている状況ではないかと思っております。私は、現在までの日本の医療システムは、世界でも希に見る優れたシステムであり、これによって世界一の長寿社会を成し得たと考えております。しかし、今後は急速なる高齢化社会とバブル経済の崩壊により、今までと同じような社会、医療のシステム維持は困難であると思えますし、又、これは私共皆が広く共有している認識と考えられます。残念ながら、このような認識があるにもかかわらず、今後の医療システム、社会構造の方向について、十分な議論と方向性が見いだせないうちに、昨年より突然自己負担の増大が打ち出されて来ました。例えば、薬は1日1剤につき15円の負担を患者さんがするとか、社会保険では、現行の1割自己負担が2割に増すとかいう改革案であります。この自己負担の増大の根拠は、国民所得に対する税金及び社会保障費用（保険料等）の比率、これを国民負担率と呼んでいます。これを50%以下にすべきであるとの政府の考え方に基づいております。例えば、スウェーデンのような北欧諸国では、税金と保険料が所得の70%、つまり国民負担率が70%となっており、私共の手元に残って自由に使えるお金は、収入の30%にしかなくなり、勤労意欲を低下させ、国の経済活力が失われるという議論であります。現在の我が国の国民負担率は35.8%（平成6年度）ですが、今後の急速な高齢化による医療費の増大、及び経済成長率の鈍化による国の税収の低下の為に、医療及び福祉に対しての抑制が必要であると言われるようになってきました。国民負担率50%の是非及び国民負担率を抑制す

ることが、本当に国民負担の軽減に結びつくかについては、十分な議論がなされていないと思われれます。人口の高齢化が進むと、年金、医療、福祉の費用が増大することは明らかであります。国民負担率を抑制し、医療、福祉の費用を抑制したからと言って、真の意味での費用の抑制は不可能であります。国民負担率を抑制した場合、お金では代えられない、誰かが無償の負担をしなければ成り立たない事は明白と思われれます。つまり、医療費、福祉の為に我々の保険料は、ある程度の増大ですみますが、家族内で介護をするとか、介護等の為に仕事を退職して専念するとかいう事になる訳であります。国の政策としている国民負担の抑制は、公的な負担を軽減し、私的な負担、国民の自己犠牲に変えていくことであると認識すべきであります。

現在、医療、福祉の費用は、保険料だけではまかなえない事態となっております。この為、国の税金により保険料を補っておりますが、政府は、財政が厳しい状況下では、これ以上国の税金を医療に投入できないと言っております。私共の税金を何に使用するのが良いのかは、国民一人一人の意志であります。全国に新幹線をつくったり、年度末になると道路工事をしたり、高級官僚の天下る公庫、公団をつくって国民の税金をこれに投入するのが良いのか、医療、福祉に向けて、明るい高齢化社会を形成していくのがよいのかの、今後の日本のビジョン、選択がほとんどなされていないのが現状であります。

少なくとも、現状は、今までの経済発展を、今後も継続して行こうとしている政策と思われれます。

私は、日本人の優れた資質として、非常に勤勉であり、労働意欲が高齢になっても高いこと、国民の能力の質が均一で高いことと考えております。これからの社会、国民負担率等を考えると、今後は、むしろ日本人の資質を生かして、

公的年金、福祉を充実させて、家族の私的な介護等の負担を軽減させて、長寿になっても働ける社会、福祉活動に参加可能な社会を形成していくことが、活力ある新しい日本のビジョンではないかと思えます。

このような社会の形成とは別に、私共が昨年からはじめました高速らせんCT装置を、病院以外の開業の先生方に利用していただき、高額医療器材を有効に活用するとか、薬剤の使用、価格を適正なものにするとかいう、医療、福祉の

費用の効率化の努力を、より一層推進しなくてはいけないと思っております。

現在の社会で生活する人々の視点を欠いた、数字上の経済学のみで議論が終始し、国民負担率の上昇が経済を破綻させ、これを防ぐ為に医療、福祉の費用を抑制することが必要であるという、短絡的な議論のみでは、真の豊かな高齢化社会が招来しないのではないかと危惧するのであります。

## ミシシッピ川からの手紙

### (8) ブッシュ記念球場とゲートウェイ・アーチ

野茂選手の活躍にて大リーグが日本でも注目を浴びておりますが、表紙の写真は私が住んでいたミズリー州の中心都市であるセントルイスのブッシュ記念球場 (Bush Memorial Stadium) にて撮影したものです。本拠地をここにおく野球チームは名門のセントルイス・カーディナルズであります。チーム名はユニホームにも絵が

ついておりミズリー州周辺では庭先などでよく見かけられる真紅の美しい鳥であるカーディナルズに由来しております。写真の右奥に見えるアーチはゲートウェイ・アーチと呼ばれ、西部開拓の時代にセントルイスが西部への入口となった事を記念して1965年に建築されたステンレス製の人工アーチです。写真では小さく見えますが、高さ約200m (60階のビルに相当) であり、アーチの中をカプセルに乗って頂上の展望台に行くことができます。

(岡村 高雄)

## 検査室だより(2)



臨床検査技師

松本 美佐子

### 1. 肝機能検査

#### \* $\gamma$ -GTP

アミノ酸代謝に関与する酵素で、主として腎臓に、次いで、膵臓・肝臓に存在します。

$\gamma$ -GTPは、肝臓の解毒、抱合、排泄機能に関わり、肝・胆道系疾患で活性値上昇がみられます。また、アルコール性肝障害や薬剤性肝障害を診断するのに鋭敏な検査です。

#### 高値を示す疾患

- \*急性肝炎
- \*肝硬変
- \*薬剤性肝障害
- \*原発性肝癌
- \*アルコール性肝炎
- \*慢性肝炎
- \*胆結石 など…



#### 一般成人参考値

$\gamma$ -GTP 10-63 IU/L

……………†……………†……………

☆ 日本酒1日2合以上毎日飲み続けた方で、軽度 $\gamma$ -GTP上昇の場合は、2~3週間の禁酒で正常に戻る人が多いですが、高度 $\gamma$ -GTP上昇の場合、飲酒の量と年月にネンキが入っているので、正常に戻るまで、2ヶ月以上の禁酒が必要になる場合があります。

みなさん、お酒はほどほどにし、週に2回程度の休肝日を取るように心掛けてはいかがでしょうか。

……………†……………†……………

検査結果、基準値についてですが、各施設で使用している機種や試薬によって、多少の違いがありますので御注意下さい。

現在、酵素項目の基準値統一化が推進されています。私共は、JSCC (日本臨床化学会) 勧告法に基づく試薬を使用し、平成8年度、日本臨床検査技師会主催の精度管理審査会に参加した結果、院内検査項目の全てが規定内に入っていました。

## 心休まった入院生活

6月下旬の鮎釣の帰り、バイクで自損事故を起こし、安芸市内の病院に100日余り入院し、後は自己訓練ということで退院しました。

退院後も痛みもあり、腕は肩より上にはあがらず、悶々の日々でした。

11月上旬、高知に嫁いでいる娘が来て、半強制的に、当病院につれて来られました。

それから45日…、お陰さまをもちまして、今日退院出来ることとなりました。その間、先生方、各スタッフの皆様には、並々ならぬお世話になり、平易な言葉ではありますが、「本当にありがとうございました」。心から御礼を申し上げます。

入院生活の1日というのは、重苦しく長く感じるのが通常であると思っておりましたが、こ

## 俳句ポスト

水田 雅吉子

\*二次検査あり暖房の長廊下 青木静枝

心情をかなり抑えた表現をされています。これで良いとも思いますが、(暖房)を(暖冬)と変えてみるだけで、検査前の不安など感じられる気がします。全句ご紹介できないのをいつも残念に思っています。今回もしみじみ読ませていただきました。

\*まだきれい廊下の紅葉ふまないで 村上ミズエ

口語体の若々しい表現が、俳句を楽しくさせてくれます。これは、(落葉)の方が状況が落ち着くようです。(朱がきれい廊下の落葉ふまないで)

\*物忘れ少し増えたり秋を臥て 田中澄子

これで良いのですが、もう少し表現やリズムに凝ってみると、味わいが出てきます。(一秋を臥してほとほと物忘る)

4F 小松 幸七

の度の45日は、大変早かったと思います。病院の新らしさもさることながら、全体の色調、各フロアのインテリア等、心休まるものでした。そのうえに各スタッフの方々の、相手の目線での対応でした。1例で恐縮ですが、1つの薬にしても、食前後30分の記入(30分の表示は殆どの病院が表示なし)薬効・副作用の説明を各室を廻り、して下さったこと等。

11月号「あゆみ」の巻頭語「共に患うの心」の実践そのものと思われま。

本年もあと6日です。新年が飛翔の年でありますよう祈念致します。

関係の皆様方、有り難うございました。

\*クリスマス絶対ホテルは満室だ 大野佳代

俳句を長くやっていると、俳句特有の風景に慣れてしまって、疑問を持たなくなります。本当は、こういう現代の風景がどんどん入ってくるべきだと思います。大野さん頑張ってください。

ご投句をたくさん戴きました。今回は句評を控え、なるべくたくさん作品をご紹介したいと思います。

\*【青木静枝】

御在所の山を背負ひて冬耕す  
冬紅葉日がな日当る川向ふ  
受付に投句箱ありクリスマス

\*【秋山武子】

大夕焼け我が家間近し橋の上  
菊焚きし昨日の句う割烹着

\*【板井代尾】

明日は雨病みて親しき秋の空  
野地菊の徒に咲いて道ぶしん

\*【奥山貴司】

元日のいつに変わらぬ犬を引く

\* 【田内澄子】

病床に口紅さして初鏡  
ガスライト灯るが如く雪の町  
初雪やライトアップの天守閣

\* 【前田展和】

背に積る雪に旭が初登山

\* 【村上ミズエ】

来る年も廊下に桜咲くかしら

\* 【横山ちひろ】

秋晴れの空を見あげりゃうろこ雲

★一樹下の電話鳴らし聖夜の灯 雅吉子

(投句 歓迎 投句箱は病院受付にあります。)

《ひろば》

気持ちの良い汗



事務主任 川久保 一美

私は今、小学校のPTAのバレーボール部に、週一回、身体を動かして通っています。

色々のストレスを、汗で発散することで、リフレッシュな気持ちになります。

上の子供が、小学校に入ると同時に、友達に誘われ入って、はや、7年目になります。

学生の時の授業でしかしたことのないバレーボール、今では待ち遠しく、楽しみに通っています。

でも、子供が小学校を卒業すると同時に、私もバレーボール部を卒業しなくてはならなく、とても残念です。

卒業まであと一年ですが、楽しくバレーボールで良い汗をかきたいです。

.....◇.....◆.....◇.....

編み物



看護婦 武島 しのぶ

12月16日は父の誕生日。毎年プレゼントを買って渡すのですが、今年は患者さんの影響を受けて、セーターを編む事にしました。編み物は手袋を1回編んだ程度だけなので、基礎記号の本と編み方の本を買ってきて、11月9日にとりかかりました。やはり初心者なので、最初は難しく思いましたが、時間が経つにつれて楽しくなりました。分からなくなると患者さんやヘルパー

さん、看護婦にも聞いて教えてもらい、12月9日仕上がりました。少し小さく出来上がったので、母と伸ばしながらスチームアイロンをかけました。思ったよりうまく出来、父にも喜んでもらったのでよかったです。皆さんも編み物してみませんか、楽しいですよ。

.....◇.....◆.....◇.....

ふるさと



看護婦 吉村 弥生

私のいなかは、梶原という町です。知らない人もいると思いますが、必ずといっていいほど、みんな遠いねえと言います。自分ではそれほどとは思いませんが、やはり里帰りする時は多少つかれます。須崎までしか汽車がなく、あまり交通の便もよくないので、しかたないかもしれません。

高知のチベットとか、空気がうすいとかいろいろ言われるけど、最近ではホテルもできて、温泉も出たそうなので、梶原もがんばっているなどと思っています。

時々、「この間梶原へ行ってきたで」などと声をかけてくれることがあります。そういうのを聞くとうれしく思います。

梶原も他の山間部の町村と同じように、過疎化が大きな問題です。若者が定住できるような町づくりが大切だと思います。しかし、若い人にとっては、都会の方が楽しいし、職場や学校なども多いので、いなかに残る人も少ないだろうとは思っています。私も、まだまだ梶原に帰るつもりはないけど、これから先、ふるさとのために貢献できるような人になれたらいいなと思う、今日この頃です。

## ▶ 第1回健康講座報告 ◀

昨年11月30日(土)に、第1回健康講座「高脂血症と動脈硬化」を開催いたしました。職員各位の御協力の甲斐ありまして、入院通院の患者さん方や、新聞を御覧になって遠方よりいらした方等、総勢60余名の参加をいただき、活気あふれる会となりました。

### 【講座内容】

- 13:30~14:30 岡村院長講演  
スライドを使用し、高脂血症の成因、高脂血症による動脈硬化の進展及び現在の治療等について。
- 14:30~15:00 管理栄養士講演  
パンフレットを使用し、高脂血症と動脈硬化の食事療法について(適正体重ですか?食物繊維をもっと!減塩の工夫等)
- 15:00~15:30 質疑応答  
上記のように進行いたしました。質疑応答の時間には、素朴な質問や深く内容のある質問が次々と展開されました。  
予定した時間を30分程オーバーしての閉会となりましたが、参加して下さった方々の、関心と熱意を強く感じ、これからも、少しずつでも皆様の健康のお役に立っていかなくてはと、改めて考えさせられました。  
ありがとうございました。(森光)



第一回 健康講座

## 🌀 <退職> ごくろうさまでした 🌀

森本 寿紀 さん (リハビリ)  
沖 智美 さん (給食係)  
高橋 忍 さん (看護学生)

## 第2回健康講座開催のお知らせ

昨年に続きまして、第2回目の健康講座を開催いたします。患者さんならびに健康に関心のある方は、是非ご参加下さい。

記

開催日時 平成9年1月25日(土)  
13時30分~15時30分

場 所 岡村病院 二階 会議室

会 費 無料

講演1 「狭心症と心筋梗塞」

講師 岡村病院院長 心臓血管外科 岡村 高雄

講演2 「心臓病食事療法の基本」

講師 岡村病院 管理栄養士 森光 眞佐子  
溝江 和子

## ニューフェイスです。ヨ・ロ・シ・ク!!



藤高英津子 さん  
給食係パート  
高知市宝町



## 1月の院内勉強会

- 日 時 1月14日(火) 17:40より
- 場 所 2階 職員食堂
- 演 題 肝臓について
- 講 師 川村 内科医長
- 日 時 1月31日(金) 17:40より
- 場 所 2階 職員食堂
- 演 題 P T C Dについて
- 講 師 竹内 外科医長
- 対象者 看護婦

他部門の方も興味のある方はご参加下さい。

- 2月は谷副院長の予定です。

看護部教育委員会

## 編集後期

院内報「歩」も5年目を迎えました。皆様のご協力により続けてこられたと感謝しています。しかし、この所、マンネリ化しているのではないかと心配しています。

どうぞ、忌憚のないご意見をお聞かせ下さいませ。そして、ご投稿もよろしくお願いします。